

予報期間 8月7日から8月13日まで

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- 台風第13号と台風第15号については最新の台風予報を参照。
- 9日は、北海道付近を前線が南下し、東日本付近が気圧の尾根となる。
- 9日から10日にかけて、高気圧が沿海州付近に停滞する。
- 11日から13日にかけて、日本のはるか東の高気圧が沿海州付近に張り出す。

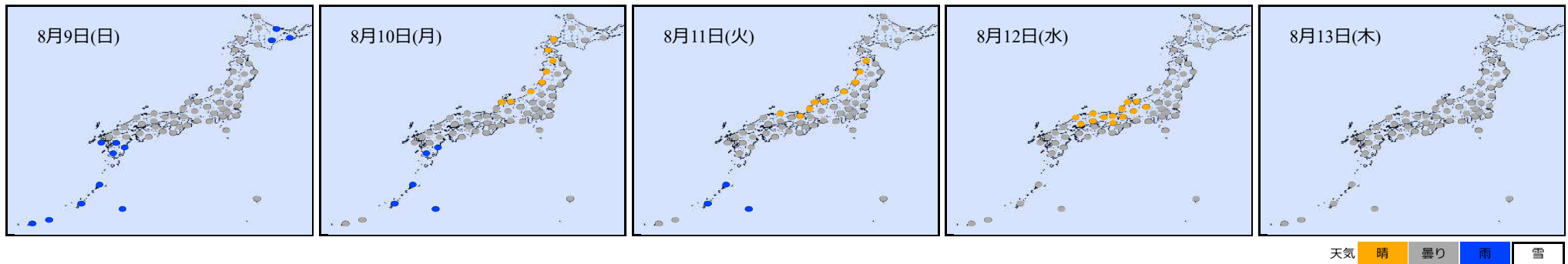
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 西日本では、10日頃にかけて台風第13号の影響で波が高くなり、台風の進路等によっては大しけや警報級の大雨となるおそれがある。
- 沖縄・奄美では、10日頃にかけて台風第13号の影響で大しけとなり、台風の進路等によっては大荒れ、警報級の大雨や高潮となるおそれがある。
- 西日本では、気温が平年よりかなり高くなり、最高気温が35度以上となる所がある。熱中症など健康管理に注意。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

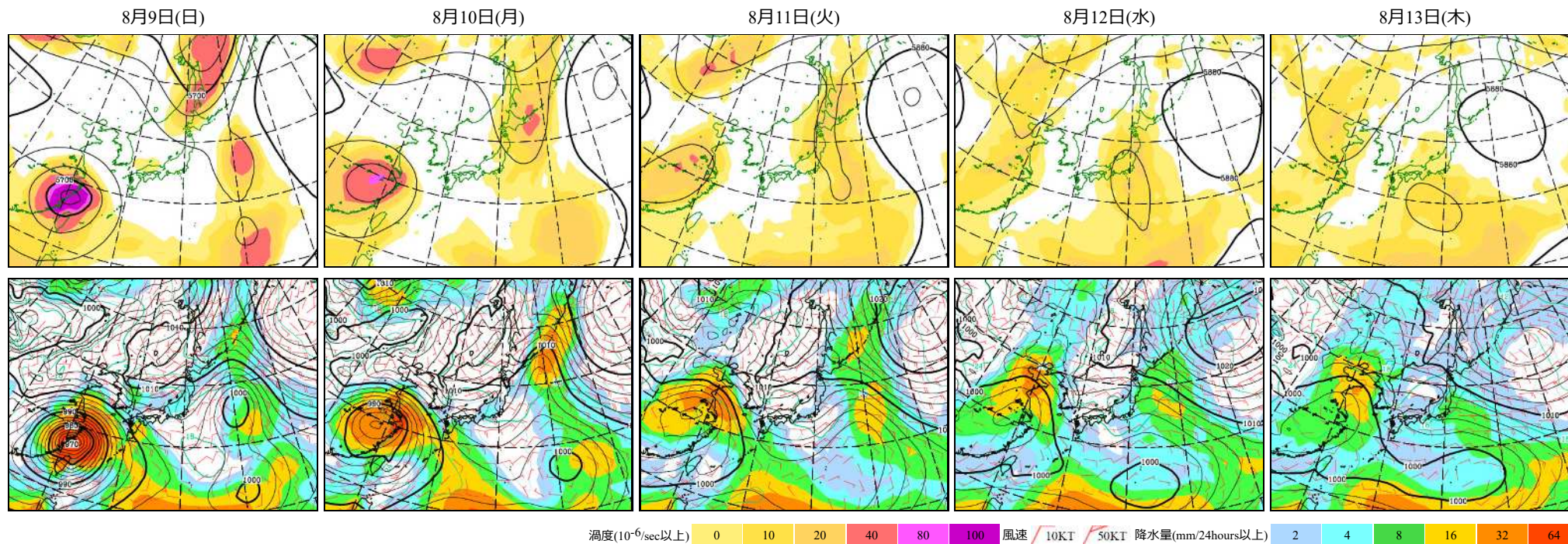
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

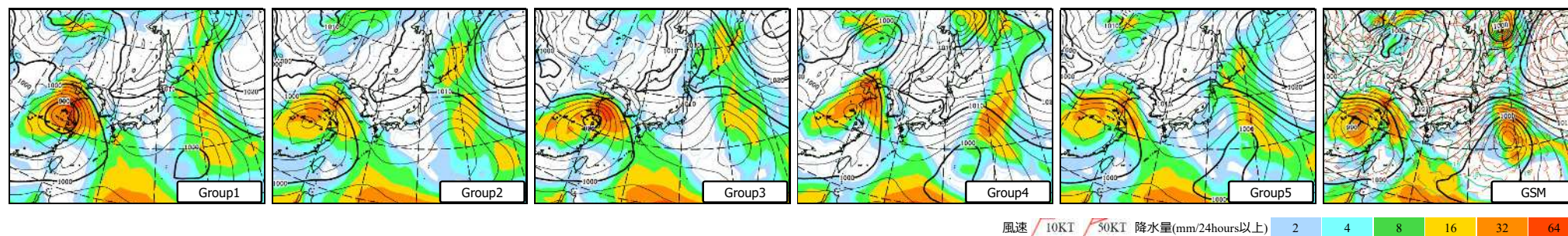


- 北日本は、曇りまたは晴れる日が多いが、9日は雨の降る所がある。
- 東日本は、曇りまたは晴れる日が多い。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、11日と12日は晴れる所がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆8月11日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、9日は、サハリン付近のトラフが深くなった。11日は、北日本付近のトラフが深くなった。
- 台風第15号の位置は11日以降モデル間の差が大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。